

目次

歓迎の言葉

- I. セミナー アジェンダ
- II. 「台湾投資」—産業のご紹介
- III. 「台湾投資」—誘致計画
 - 1 バイオテクノロジーと国際医療
 - 2 文化創意とデジタルコンテンツ
 - 3 グリーンエネルギーと
インテリジェンス電気自動車
 - 4 都市再開発と土地開発
 - 5 観光と深層海水
- IV. 連絡情報
- V. 場所案内



台湾の玉山—東南アジア最も高い山

歓迎の言葉

2008年に馬英九大統領が就任して以来、台湾と中国との間の規制緩和が進んでいます。台湾と中国との直行便や中国観光客の台湾への観光等が解禁され、その上「两岸経済協力枠組協定(ECFA)」が締結されたことから、中台関係が大幅に改善されたと言えます。それと同時に、台湾政府は税金改革及び研究創造の促進、規制緩和により台湾の経営環境を向上させ、「内需」と「輸出」を二つの成長エンジンとする産業構造に転換させました。そのため、台湾は無事に世界金融危機を乗り越え、2010年の経済成長率は10.88%に達し、民間投資成長率も32.5%と約40年ぶりの記録更新となりました。IMFも今後10年、台湾の発展ポテンシャルを期待しているということです。

計画的に外資を発展ポテンシャルのある新興産業や公共建設に呼び込み、また台湾企業と海外企業の戦略提携を促進するため、台湾政府は2010年から積極的に香港及びシンガポール、インド、アメリカで投資誘致セミナーを開き、大反響をいただきました。日本での投資誘致セミナーは2011年4月に行う予定でもありましたが、3月11日の東日本大地震の影響で、本日まで延期しました。この場を借り台湾国民を代表し日本の皆様に心よりお見舞いを申し上げます。日本国民の災害復旧時の冷静且つ前向き、秩序のある行動や助け合うという素晴らしい国民性や素養を目にし、復旧作業はきっと近い将来に完成できると信じております。

日本は台湾の第二貿易相手国であり、また日本にとって、台湾は輸出相手国第4位及び輸入相手国第11位でもあります。日本企業と台湾業界の提携歴史は約5、60年に及んでおり、また環境配慮型インフラ及びスマートコミュニティ、情報や通信産業、文化創造産業等近年日本の輸出市場における重要産業は台湾が促進している6大新興産業とサービス業と一致しているため、お互いにとって重要な提携機会と考えております。台湾と中国の貿易はECFAの締結により拡大しつつあるため、日台の戦略提携により中国市場を開拓することは、大きなビジネスチャンスが存在すると予想しております。また、日本では大規模な都市再開発ケースが数多くあると聞いております。台湾政府では現在、都市再開発産業を積極的に促進しており、日本の都市再開発関連企業の台湾への投資することを是非とも期待しております。

本日はご多忙のところ、お時間をいただきありがとうございます。皆様のご健康とご活躍を祈ります。

中華民国行政院全球招商規画推動委员会主任委員
中華民国行政院經濟建設委员会主任委員

劉憶如

2011年8月29日

歡 迎 詞

台灣自 2008 年馬總統就任後，採取開放、鬆綁的政策，推動兩岸直航、開放大陸觀光客來台、簽署台灣與中國大陸「兩岸經濟協議（ECFA）」，兩岸關係大幅改善。同時，改革稅制、鼓勵研發創新、落實法規鬆綁、提升台灣整體經營環境，並且調整產業結構為「內需」及「出口」雙引擎，使台灣不但安然渡過全球金融海嘯侵襲，2010 年經濟成長率更達 10.88%，民間投資成長幅度也高達 32.5%，為 40 多年來新高，IMF 亦相當看好台灣未來 10 年的發展潛力。

為了進一步策略性引導外資投入台灣具發展潛力的新興產業及公共建設，及媒合台灣與外國企業組成策略聯盟，台灣積極推動全球招商，自 2010 年以來相繼前往香港、新加坡、印度、美國，並獲熱烈迴響。日本的招商大會，原本訂於 2011 年的 4 月舉行，然而 3 月 11 日突如其來的地震、海嘯，震驚了全世界，也讓這次的會議延至現在。在此謹代表中華民國向貴國人民致上崇高的敬意，在災害復原的過程中，日本人民展現出最高的國民素養，冷靜、樂觀、有序、效率及互助，相信日本將會非常迅速地完成令世人讚嘆的災後復興計畫。

日本為我國第 2 大貿易夥伴，而台灣對日本而言，為日本第 4 大出口市場及第 11 大進口來源國。日本企業與台灣企業界已有五、六十年的合作經驗，而日本近年出口市場產業發展重點，如環保型基礎建設、智慧社區、資訊和通訊產業，及文化創意產業等，均和台灣刻正推動之六大新興產業及重點服務業方向不謀而合，此對雙方而言應是一個重要的合作機會。隨著 ECFA 的簽署，台灣對中國大陸銷售項目逐漸擴大，以台日策略聯盟共同開拓大陸市場，應有很大的利基。此外，日本有許多非常成功的大規模都市更新案例，台灣目前都市更新產業在中央及各地方政府積極的推動下，也希望日本相關企業可以來台投資。

歡迎各位貴賓撥冗與會！敬祝大家身體健康、事業興隆、順利如意，也希望大會圓滿成功！

中華民國行政院全球招商規劃推動委員會主任委員
中華民國行政院經濟建設委員會主任委員



2011 年 8 月 29 日

セミナー アジェンダ

日付：2011年8月29日

場所：東京 帝国ホテル 富士の間

時間	アジェンダ
13:00-13:30	受付
13:30-13:45	歓迎の言葉 －株式会社大和証券グループ本社 社長 日比野隆司 －行政院経済建設委員会 主任委員 劉憶如 －台北駐日経済文化代表処 代表 馮寄台
13:45-14:00	「台湾投資」ビデオ放映
14:00-14:20	講演－行政院経済建設委員会 主任委員 劉憶如 テーマ：ビジネスパートナーとしての台湾の魅力
14:20-15:05	「台湾投資」産業別プレゼンテーション パート1 1. 台湾映画産業：行政院新聞局 2. デジタルコンテンツ産業：義美聯合電子商務公司 3. デジタルゲーム産業：樂陞科技 4. 文化創造産業：霹靂国際 5. ソーラーシステム産業：旭能光電 6. インテリジェンス電気自動車産業：經濟部インテリジェンス電気自動車推進オフィス
15:05-15:25	休憩
15:25-17:00	「台湾投資」産業別プレゼンテーション パート2 7. バイオテクノロジー産業：基亞生物科技股份有限公司 8. 農業バイオテクノロジー産業：農委会農業生物技術園區 9. 健康医療産業：台湾土地開発、台湾医健會、亞太旅遊医学會、MED-1 Asia 株式會社 10. 海洋バイオテクノロジー産業：台鹽公司 11. クラウドコンピューティング産業：中華電信公司 12. 精密機械産業：友嘉集团 13. 精密機械産業：台中精機廠公司 14. 国際物流産業：遠雄航空自由貿易港区公司 15. 都市再開発産業：信義房屋 16. 土地開発特区：台北市庁、新北市庁、宜蘭県庁、新竹県庁、澎湖県庁、台東県庁、金門県庁、内政省營建署（報告まとめ） 17. 台湾資本市場：台湾証券交易所 18. 兩岸 ECFA のビジネスチャンス：常在國際法律事務所 19. 日台協力のビジネスチャンス：資誠聯合會計師事務所
17:00-17:20	講演－海峡交流基金会 董事長 江丙坤 テーマ：ECFA と今後の兩岸及び日台経済関係
17:20-17:30	閉幕の言葉－行政院経済建設委員会
17:30-17:30	産業別相談窓口（鶴の間にて）

招商大會議程

日期：2011年8月29日

地點：東京 帝國飯店 富士の間

時間	議程
13:00-13:30	報到
13:30-13:45	開幕致詞 —大和證券集團 日比野社長隆司 —行政院經濟建設委員會 劉主任委員憶如 —台北駐日經濟文化代表處 馮 代 表寄台
13:45-14:00	「投資台灣」招商影片
14:00-14:20	專題演講—行政院經濟建設委員會 劉主任委員憶如 題目：台灣作為商業夥伴的魅力
14:20-15:05	「投資台灣」產業及商機簡報～第一部分 1. 台灣電影產業：新聞局 2. 創意生活產業：義美聯合電子商務公司 3. 數位遊戲產業：樂陞科技 4. 文化創意產業：霹靂國際 5. 太陽光電產業：旭能光電股份有限公司 6. 智慧電動車產業：經濟部智慧電動車推動辦公室
15:05-15:25	中場休息
15:25-17:00	「投資台灣」產業及商機簡報～第二部分 7. 生物科技產業：基亞生物科技股份有限公司 8. 農業生技產業：農委會農業生物技術園區 9. 醫療健康產業：台灣土地開發公司、台灣醫健會、亞太旅遊醫學會 MED-1 Asia 株式會社 10. 海洋生技產業：台鹽公司 11. 雲端運算產業：中華電信公司 12. 精密機械產業：友嘉集團 13. 精密機械產業：台中精機廠公司 14. 國際物流產業：遠雄航空自由貿易港區公司 15. 都市更新產業：信義房屋 16. 土地園區開發：臺北市政府、新北市政府、宜蘭縣政府、新竹縣政府 澎湖縣政府、臺東縣政府、金門縣政府、內政部營建署 (彙整報告) 17. 台灣資本市場：台灣證券交易所 18. 兩岸 ECFA 商機：常在國際法律事務所 19. 日台合作商機：資誠聯合會計師事務所
17:00-17:20	專題演講—海峽交流基金會 江董事長丙坤 題目：ECFA 簽訂後兩岸及日台經濟關係
17:20-17:30	閉幕致詞—行政院經濟建設委員會
13:30-17:30	分會場諮詢服務 (鶴の間)

日付：2011年8月31日

場所：大阪 ホテル阪急インターナショナル 紫苑

時間	アジェンダ
13:00-13:30	受付
13:30-13:45	歓迎の言葉 －大和証券キャピタル・マーケット株式会社 副社長 高橋昭夫 －行政院経済建設委員会 主任委員 劉憶如 －台北駐大阪経済文化弁事処 処長 黃諸侯
13:45-14:00	「台湾投資」ビデオ放映
14:00-14:20	講演－行政院経済建設委員会 主任委員 劉憶如 テーマ：ビジネスパートナーとしての台湾の魅力
14:20-15:05	「台湾投資」産業別プレゼンテーション パート1 1. 台湾映画産業：行政院新聞局 2. デジタルコンテンツ産業：義美聯合電子商務公司 3. デジタルゲーム産業：樂陞科技 4. 文化創意産業：霹靂国際 5. ソーラーシステム産業：旭能光電 6. 低炭素グリーンエネルギー産業：工業技術研究院
15:05-15:25	休憩
15:25-15:30	貴賓あいさつ－台北市市長 郝龍斌
15:30-15:50	講演－海峡交流基金会 董事長 江丙坤 テーマ：ECFA と今後の兩岸及び日台経済関係
15:50-17:20	「台湾投資」産業別プレゼンテーション パート2 7. 医学製薬産業：台湾神隆股份有限公司 8. バイオテクノロジー産業：基亞生物科技股份有限公司 9. 農業バイオテクノロジー産業：農委会農業生物技術園區 10. 海洋バイオテクノロジー産業：台鹽公司 11. クラウドコンピューティング産業：中華電信公司 12. 精密機械産業：友嘉集团 13. 国際物流産業：遠雄航空自由貿易港区公司 14. 都市再開発産業：信義房屋 15. 土地開発特区：台北市庁、新北市庁、宜蘭県庁、新竹県庁 澎湖県庁、台東県庁、金門県庁、内政省營建署(報告まとめ) 16. 台湾資本市場：台湾証券交易所 17. 兩岸 ECFA のビジネスチャンス：常在国際法律事務所 18. 日台協力のビジネスチャンス：国際通商法律事務所
17:20-17:30	閉幕の言葉－行政院経済建設委員会
13:30-17:30	産業別相談窓口（月華にて）

日期：2011年8月31日

地點：大阪 阪急國際酒店 紫苑

時間	議程
13:00-13:30	報到
13:30-13:45	開幕致詞 —大和證券 Capital Markets 高橋副社長昭夫 —行政院經濟建設委員會 劉主任委員憶如 —台北駐大阪經濟文化辦事處 黃 處 長諸侯
13:45-14:00	「投資台灣」招商影片
14:00-14:20	專題演講—行政院經濟建設委員會 劉主任委員憶如 題目：台灣作為商業夥伴的魅力
14:20-15:05	「投資台灣」產業及商機簡報～第一部分 1. 台灣電影產業：新聞局 2. 創意生活產業：義美聯合電子商務公司 3. 數位遊戲產業：樂陞科技 4. 文化創意產業：霹靂國際 5. 太陽光電產業：旭能光電股份有限公司 6. 低碳綠能產業：工業技術研究院
15:05-15:25	中場休息
15:25-15:30	貴賓致詞—台北市 郝市長龍斌
15:30-15:50	專題演講—海峽交流基金會 江董事長丙坤 題目：ECFA 簽訂後兩岸及日台經濟關係
15:50-17:20	「投資台灣」產業及商機簡報～第二部分 7. 醫學製藥產業：台灣神隆股份有限公司 8. 生物科技產業：基亞生物科技股份有限公司 9. 農業生技產業：農委會農業生物技術園區 10. 海洋生技產業：台鹽公司 11. 雲端運算產業：中華電信公司 12. 精密機械產業：友嘉集團 13. 國際物流產業：遠雄航空自由貿易港區公司 14. 都市更新產業：信義房屋 15. 土地園區開發：臺北市府、新北市政府、宜蘭縣政府、新竹縣政府 澎湖縣政府、臺東縣政府、金門縣政府、內政部營建署(彙整報告) 16. 台灣資本市場：台灣證券交易所 17. 兩岸 ECFA 商機：常在國際法律事務所 18. 日台合作商機：國際通商法律事務所
17:20-17:30	閉幕致詞—行政院經濟建設委員會
13:30-17:30	分會場諮詢服務（月華）

「台湾投資」―産業のご紹介

台湾の中華民国の政府は、民間投資を促すため、就職する機会を増やし、なお ECFA を締結した後に、台湾の経済発展の新しい価値を掌握するために及び政府の遺産贈与税と営業所得税などを大幅に下げ、投資に有利な措置を実施した政策に合わせるためにここ数年以来、積極的に「全世界の企業を誘致し、台湾に投資させる」という政策の措置を推進し、全世界の資金を台湾国内の新興産業の発展に投じるように引き付けることを期待し、最初にこの「投資」というプロジェクトの巨大なエンジンを始動させて、経済成長の巨大な力に成ってもらって、国内産業のアップグレードを動かし、就職する機会を創り、また経済構成の効益を調節することを発揮させたがっていたのです。例えば、行政院経済建設委員会は、2010年に台北、台中、高雄、花蓮と台東でともに五会場企業を誘致する大会を催し、また2010年11月、2011年2月と5月に再び、中央部会や、地方政府と民間の業者などを招いて、別々に香港、シンガポール、インド、アメリカへ赴いて、外国資本の企業を誘致していた。台湾国内外の企業を誘致するセミナーも、それに2011年7月に「アジア台湾ビジネス誘致セミナー」を催し、合計5,500人以上が参加したことが出来て、とても熱烈的な反応があったのです。

政府は去年（2010年）から多くの場所で国内外の投資を誘致するイベントを開催した後、すでに多項目の国内外の投資者が集中的に問い合わせをした人気のある産業を纏めました。その中には：「バイオテクノロジーと国際医療」、「文化創意とデジタルコンテンツ」、「グリーンエネルギーとインテリジェンス電気自動車」、「都市再開発と土地開発」、「観光と美食」、「ハイテクノロジー（知恵型手持ち装置、クラウドコンピューティングと WiMAX を含む）」など、国内外の投資者は、各項目の有名な産業に対して、みんな高い投資の興味と願望を現しています。それ以外に、国内の「精密機械」、「新しい産業の資金を調達するプラットフォームを創り出す」は、すべてがずば抜けている発展の基礎を持っていて、重要な産業の発展プロジェクトの一つです。上述した各項目の産業は、国内の次の産業のモデルチェンジ、及び高度化などの面において、これからの産業発展の機関車としての役割を果たせて、国内産業をアップさせる重要な鍵となります。

上述した各項目の産業は、今のところでは、国内産業の市場占有率がまだ低くなっており、例えば：「文化創意とデジタルコンテンツ」は、国内の株市場の上場した市場価値をわずか0.19%を占めており、「バイオテクノロジーと国際医療」は0.48%、「観光と美食」は0.50%を占めているだけであり、将来には相当に大きいな発展空間が残されるはずで、この産業の構造調整の肝心の時に、政府は積極的に、具体的な政策と措置を採用し、民間の企業に増資をして投資するよう勧め、また産業のモデルチェンジの最も重要な鍵となる時期になっているため、企業の台湾に対する追加投資をする意欲を高めて、就職する機会を増やし、台湾産業の新たな繁栄の景気を再び創りだします。

「投資台灣」——產業介紹

為鼓勵民間投資、創造就業機會，並掌握 ECFA 簽署後台灣經濟發展的新價值，以及配合政府大幅調降遺產贈與稅及營所稅等有利投資之措施，政府近年來積極推動「全球招商、投資台灣」政策措施，期能吸引全球資金投入國內新興產業之發展，啟動「投資」這項推升經濟成長的巨大引擎，發揮帶動國內產業升級、開創就業機會、調整經濟結構的效益。例如行政院經建會於 2010 年在台北、台中、高雄、花蓮及台東共舉辦 5 場次招商大會，復於 2010 年 11 月、2011 年 2 月及 5 月會同中央部會、地方政府及民間業者分別赴香港、新加坡、印度及美國招商，以及於 2011 年 7 月舉辦之亞洲台商大會，國內外招商大會合計逾 5,500 人參與，反應熱烈。

政府自去(2010)年以來舉辦多場國內外投資招商活動後，已歸納出多項國內外投資者密集詢問之熱門產業，包括：「生技及國際醫療」、「文化創意及數位內容」、「綠能及智慧電動車」、「都市更新及土地開發」、「觀光旅遊及美食」、「高科技(含智慧型手持裝置、雲端運算及 WiMAX)」等，國內外投資人對各項明星產業均表達高度投資興趣與意願。此外，國內「精密機械」、「國際物流」、「高科技及創新產業籌資平台」均擁有優異發展基礎，亦是重要產業發展項目之一。上述各項產業極可能引領國內下一波產業之轉型、升級，成為帶動國內產業持續提升之重要關鍵。

由於上述各項產業目前占國內產業版圖之市值多數仍低，如：「文化創意及數位內容」占國內股市市值僅 0.19%，「生技及國際醫療」占 0.48%、「觀光旅遊及美食」占 0.50%，未來應有相當大之發展空間。於此產業結構調整之關鍵時刻，政府將採取積極、具體的政策措施，鼓勵民間加碼投資，以及時掌握產業轉骨之重要契機，從而提升廠商加碼投資台灣之信心，創造就業機會，再創台灣產業新榮景。



台灣 投資

● バイオテクノロジーと国際医療

ここ数年、台湾政府は積極的にバイオテクノロジー医薬産業を推進し、2007年に通過したバイオテクノロジー新薬産業の発展する条例を除いて、危険性が高い医療の器材と新薬の開発の二種類に焦点を絞って、法令を通して規制緩和をし、しかも税法と資金を募集する方面においては、比較的優遇がある措置を提供し、また、2009年にバイオテクノロジー医療産業は六大の新興産業の一つになりました。

台湾は、完璧なバイオテクノロジー医薬関連の法規があつて、良好な知恵財産権の保障もあり、優秀な研究開発の人材と臨床試験のエネルギー、そして、すでに全面的に GMP と cGMP 認定の国際規範を実施し、台湾の薬品はすでに十カ国の先進国で販売していることができるようになりますし、また、その他の国でも販売した実績があつて、電動の代理歩行車、電子血圧計、血糖計、自動注射器などの製品は、全世界にも高い市場の占有率があり、国際市場に認められました。

それ以外に、台湾の医療サービスは、品質の高さと費用が合理的で、ノーベル経済学賞を獲得したポーク・クローグマンが 2009 年公開で、台湾健康保険制度は、全世界で最も優秀なシステムであると称賛してくれました。アジア全域で最初の医学移植の実例だったの心臓移植が台湾で成功した；台湾で肝臓移植の手術の生存率でも全世界をリードしています。現在、台湾の 12 社の医療機構は全世界の医療界で信頼度が最も高い JCI (Joint Commission International) 国際病院の評価に認められて合格しましたし、しかも、多くの病院はみんな「病院評価と医療品質策進会」の評価を得るために努力し、それが所以に病院に優良的な医療品質の保証を提供しています。

